

『源氏物語』の世界 その三十

講座内容

世界文学史上に輝く『源氏物語』は、尽きるのことがないインスピレーションを、後代の人々と文学に与え続けてきました。この講座では『源氏物語』を原文(現代語訳付き)で、じっくり読んでいきます。『源氏物語』を初めて読む方でも大丈夫です。講師が時代背景などの必要知識を、わかりやすく丁寧に解説いたします。

期 間	9月30日～12月23日	受講料	16,000円
曜 日	火曜日	定 員	30名 ※最少催行人数 10名
時 間	10:45～12:15	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全7回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		
備 考	●この講座は9月22日(月)までに中止の連絡が無ければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	9月30日(火)	「真木柱」- ⑩ 鬚黒は渋々ながら、玉鬘が宮中に参ることに賛成します。
2	10月 7日(火)	「真木柱」- ⑪ 冷泉帝は玉鬘の美しさに驚きます。
3	10月28日(火)	「真木柱」- ⑫ 鬚黒は玉鬘を、早々に自邸に引き取ります。
4	11月11日(火)	「真木柱」- ⑬ 玉鬘の去った六条院で、光源氏は玉鬘を偲びます。
5	11月25日(火)	「真木柱」- ⑭ 鬚黒は、嫁の真木柱の姫君に会えないことを嘆きます。
6	12月 9日(火)	「真木柱」- ⑮ 玉鬘に、鬚黒の男子が生まれました。
7	12月23日(火)	「梅枝」- ① 光源氏の娘の、明石の姫君の入内が決まります。

講師紹介



宇留田 初実(うるた はつみ)

聖徳大学兼任講師

青山学院大学大学院日本語・日本文学専攻、博士課程単位取得満期退学。専門分野は日本文学(平安時代)、幼児言語学、国語教育。詩人(2003年コスモス文学新人賞受賞)。著書に「情報と表現 一日本語の表現と技法」(共著 双文社出版)2016年。